

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成24年11月9日(金) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 山形大学ナスカ研究所を開所しました！
2. 人文学部人間文化学科では、平成25年度から教育コースを再編します！
3. 大学院生3名をハワイ大学に派遣
4. 第2回安達峰一郎記念平和弁論大会本選出場者決定
5. 男女共同参画シンポジウム『未来につなげる女性研究者の育成』の開催
6. 「山形県民シンポジウム」県内各地で開催

お 知 ら せ

1. 奥の細道マイスタ - 養成講座 キックオフシンポジウム開催
2. 第3回農業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム
～私たちの挑戦～ 開催

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成24年11月20日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成24年11月9日
山形大学

山形大学ナスカ研究所を開所しました！

10月30日に山形大学人文学部附属ナスカ研究所がペルー共和国ナスカ市に開所しました！

<ナスカ研究所開所式 2012年10月30日 11:00-12:30(現地時間)>

- ・ 日本国歌斉唱
- ・ 開会の辞：坂井正人（山形大学人文学部教授(ナスカ研究所副所長)）
- ・ 挨拶：福川正浩 氏（在ペルー日本国大使）
- ・ 挨拶：Eusebio Alfonso Canales Velarde 氏（ナスカ市長）
- ・ 挨拶： Maria Belen Gomez 氏（文化省文化遺産局調整官）
- ・ 挨拶：結城章夫（山形大学学長）

- ・ 乾杯：北川忠明（山形大学人文学部学部長（研究所長））
- ・ 研究所看板の除幕式（大使・学長、市長・支局長）

<研究所披露パーティ 13:00-15:00(現地時間)>

- ・ 挨拶：北川忠明（山形大学人文学部学部長（研究所長））
- ・ 乾杯：渡邊洋一（人文学部教授（前学部長））
- ・ 山形大学紹介：北川忠明（山形大学人文学部学部長（研究所長））

<研究所の今後の計画>

- ・ 現地での分析・調査の継続（学生、卒業生の研究者含む）
- ・ 研究成果の社会への発信
 - ナスカ研究所webページの立上げ
 - ナスカ市民への公開講座の実施
 - 研究所レポートの発刊
 - 新発見地上絵の公表 など



国歌斉唱



学長挨拶



空輸したプレート



列席者は約100名



当日の様子（映像および画像）は人文学部公式facebookページで公開しています。



お問い合わせ先

【研究に関すること】


ナスカ研究所副所長 坂井正人 電話：023-628-4785

Mail: sakai@human.kj.yamagata-u.ac.jp

【ナスカ研究所に関すること】

人文学部事務長 齋藤賀久 電話：023-628-4201

Mail: jinmcho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学人文学部 附属ナスカ研究所 開所式

平成24年10月30日
ペルー共和国ナスカ市



山形県人会の歓迎会



山形県人会のみなさまと



ナスカ台地を視察



ナスカ台地を視察



開所式にて
福川 在ペルー特命全権大使の挨拶



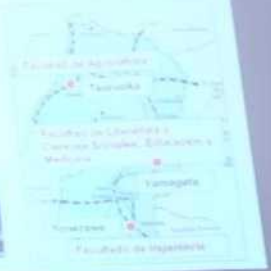
学長にナスカ名誉市民章



山形大学 Universidad de Yamagata

- Cursos Generales para Pre-Graduados
- Cinco Escuelas de Post grado

- 1) Facultad de Literatura y Ciencias Sociales
- 2) Facultad de Educación, Arte y Ciencia
- 3) Facultad de Ciencias
- 4) Facultad de Medicina
- 5) Facultad de Ingeniería
- 6) Facultad de Agricultura



祝賀会にて山形県と山形大学を紹介



研究所外觀



山形大学ナスカ研究所
Instituto Naska de la Universidad de Yamagata

研究所玄関



研究所内部



研究所内部



研究所屋上にて

平成24年11月9日
山形大学

平成25年度から教育コースを再編します！

人文学部人間文化学科では、平成25年度から教育コースを現行の2コースから5コースに再編します。

現行のコース編成

共生人間学コース

地理学、社会学、心理学、哲学、人間情報科学、言語学（日本語学・英語学）

文化環境学コース

文化人類学・宗教史、歴史学、アジア文化論（日本文学・中国文学）、欧米文化論、芸術文化論、比較文化・表象文化論



新しいコース編成

地域・人間（地理学・社会学・心理学・人間情報科学）コース

言語（日本語学・英語学）コース

文化動態論（歴史学・文化人類学）コース

文化解釈学（文学・芸術・表象・哲学）コース

グローバル文化学（比較文化論・欧米文化論・アジア文化論）コース

今回の再編は、これまでの教育内容を維持しながら、次の2つの点で、いっそうの改善を目指すものです。

- （1）実践的な外国語能力の強化という要請に対応できるよう、グローバル文化学コースを新設したこと。
- （2）従来からある教育分野についても、教育内容のつながりを反映したコース編成に改めたこと。

グローバル文化学コースでは、留学を奨励し、外国語授業を強化した教育を実施します。それに伴い、当コースでは、従来からの卒業論文に加えて、外国語の論文・芸術作品などの日本語への翻訳や、外国語によるレポートも認めるなど、卒業研究のあり方を多様化します。

【お問合せ先】

人文学部人間文化学科長・教授 きよづかくにひこ 清塚邦彦

電話：023-628-4223

Mail: kiyozuka@human.kj.yamagata-u.ac.jp

「ニッポンゲン」ってナニ？

山形大学人文学部 **人間文化学** 科では

平成25年度より教育コースを **5** コースに再編します

共生人間学コース 地理学、社会学、心理学、哲学、人間情報科学、言語学(日本語・英語学)

- 自然と人間の共生や人間どうしの共生をテーマに、人間の精神の働きや言語の成り立ち、自然環境と人間・人間社会の関係などの問題を、多角的に追究する

文化環境学コース 文化人類学・宗教史、歴史学、アジア文化論(日本文学・中国文学)、欧米文化論、芸術文化論、比較文化・表象文化論

- 歴史的・地域的に異なる文化のありようと、そのはたらきをテーマに、世界のあらゆる地域を対象に、その地域の基層を形づくる宗教や民族、歴史、文化、芸術などを追究する



実践的な外国語能力の強化に対応できるようグローバル文化学コースを新設！
従来からある教育分野については教育内容のつながりを反映したコースに再編！

地域・人間(地理学・社会学・心理学・人間情報科学)コース

- 地域、社会、人間の間を生じる問題について、科学的な手法での解明を目指す

言語(言語学・日本語学・英語学)コース

- 人間の情報伝達や思考の手段である言語について考え、その言語のとらえ方や分析方法について学ぶ

文化動態論(歴史学・文化人類学)コース

- 歴史資料の読解やフィールド調査によって、人類が築いてきた社会・文化を通時的・共時的に分析する

文化解釈学(文学・芸術・表象・哲学)コース

- 文学作品や芸術作品、哲学から映画や現代アニメまで、言葉や視覚イメージを通じて表現された人間の多様な思考や感じ方について考察する

グローバル文化学(比較文化論・欧米文化論・アジア文化論)コース

- 学問領域を横断して、欧米や東アジア地域の言語・文化・歴史・社会を包括的に考察し、現代の世界を主体的に考えて行くための知識と方法を学ぶ

平成24年11月9日
山形大学

大学院生3名をハワイ大学に派遣

内容概略：山形大学理学部地球環境学科では、東日本大震災等の研究を進めるため、大学院生3名を学部間交流協定校であるハワイ大学に派遣することにした。

山形大学理学部は、教員・学生の相互派遣や共同研究等の交流を進めるため、3月12日にハワイ大学マノア校と学部間交流協定を締結した。7月30日から1週間、国際的に有名な火山学者であるハワイ大学のガルシア教授を招待し、講義と蔵王火山・東日本大震災の被災地の現地見学会を開催した。ハワイは世界で最も活発な火山地帯であり、最新の研究によって噴火予測も進むと共に火山に伴う巨大地震・津波が過去に繰り返し発生したことが明らかとなってきた。このような最新研究成果は東日本大震災の研究や復興に役立てることが期待できる。以上の経緯を踏まえ、山形大学理学部地球環境学科では、11月14日から10日間、地震学・火山学・海洋学の各分野から1名ずつ、計3名の大学院生をハワイ大学に派遣することを決めた。3名は学術交流・研究発表のほか、ハワイ大学の学生との交流も予定している。

東日本大震災後の地殻内部の変化を解析して地震予知につなげる研究をしている高橋承之君は、解析結果の検証等の情報交換を行うと共に新たな解析手法を習得する。火山噴火直前のプロセスを研究している佐藤昂徳君は、東北の活火山の試料の化学分析を行い、噴火前兆現象を理解する手法を習得する。またハワイの火山の活動様式について学ぶ。海洋環境の変遷を研究している阿部健太君は、解析手法に関して助言を得ると共に海洋環境調査について実地研修を行う。

なお、地球環境学科では、ハワイ大学と年代測定の研究を始めるほか、3年生30名によるハワイ火山の研修も計画している。

(お問合せ先)
理学部地球環境学科・伴雅雄
電話 628-4642

平成24年11月9日
山形大学

第2回安達峰一郎記念平和弁論大会本選出場者決定

来る11月24日(土)に開催する「第2回安達峰一郎記念世界平和弁論大会」(山形大学都市・地域学研究所、山辺町共催)の本選出場者が決定しました。

北海道から九州まで全国から応募があり、264名の応募者の中から中学生11名、高校生10名が本選に出場します。

第2回安達峰一郎記念平和弁論大会本選

日時:11月24日(土)13時~16時

場所:山形大学 小白川キャンパス基盤教育2号館222教室

出場者:以下のとおり

参加は無料です。多くの方のお越しをお待ちしています。

中学生の部

我妻 七夏	山形市立第二中学校 3年	「平和の大切さ」
立澤 めぐみ	北海道立命館慶祥中学校 3年	ハテナの「平和」と確かな「平和」
浪岡 志帆	山形市立第十中学校 3年	「あの日からのメッセージ」
石原 みのり	山形市立第十中学校 3年	「命を受け継いで」
秋葉 優佳	山形市立第十中学校 3年	「笑顔でいたい」
喜島 碧	山形市立第三中学校 3年	「違い」を受け入れる
菊地 千夏	山形市立第三中学校 3年	「世界平和に向けての宿題」
利根 慎之介	福岡県八女学院中学校 1年	「ひとりひとり、たったひとつの命」
黒田 真帆	山形大学附属中学校 3年	「世界平和と私」
田中 冴実	山形大学附属中学校 3年	「私とモネと世界平和」
東海林 祈也	山形市立第七中学校 2年	「学生交流」

高校生の部

菊地 帆夏	聖ウルスラ学院英智高等学校 3年(仙台市)	「イエスと言える日」
川嶋 里奈	聖ウルスラ学院英智高等学校 2年(仙台市)	「世界平和と教育」
平澤 愛里	山梨県北杜市立甲陵高等学校 1年	「負の螺旋」
原 征大	山梨県北杜市立甲陵高等学校 1年	「悲劇に学ぶ」
山口 夏紀	茨城県立水海道第一高等学校 1年	「見えない未来を築くために」
山野 賢	北海道立命館慶祥高等学校 3年	私も追う、「世界の良心」を!
高橋 勸名	北海道札幌旭丘高等学校 3年	「あの戦争は終わっていない」
西村 友里	山形県立山形東高等学校 1年	「より良い国際関係を構築するために」
後藤 拓真	山形県立山形東高等学校 1年	「数学的思考を持って」
渡邊 瑞萌	山形県立山形西高等学校 2年	「マザーテレサと無償の愛」

(問い合わせ)

山形大学都市・地域学研究所

人文学部 松尾剛次研究室

TEL・FAX 023-628-4917

又は 人文学部事務室

TEL 023-628-4203

平成24年11月9日
山形大学

平成24年度男女共同参画シンポジウムを開催します

11月19日(月) 14:40～ 以下のとおり「平成24年度男女共同参画シンポジウム」を開催します。

山形大学では、平成21年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」の採択を受けて、3年間「山形ワークライフバランス・イノベーション」事業に取り組んで参りました。昨年度はその成果や課題を公表すると共に、県内高等教育機関との連携に向けてシンポジウムを開催し、「男女共同参画に向けた大学連携・山形宣言」を採択しました。

本シンポジウムは、「山形宣言」1周年を迎え、県内各機関との連携を深め、教育・研究分野における男女共同参画・女性研究者支援を前進させるため開催するものです。最前線で活躍されている小舘香椎子氏からは最近の動向を伺うと共に、県内高等学校の先進的な取組と期待されている女性研究者からの発表を受けて、未来につなげる女性研究者の育成と男女共同参画に向けて考えて参ります。

日時 平成24年11月19日(月) 14:40～17:10

場所 山形大学小白川キャンパス 理学部先端科学実験棟4階 S401教室

内容 1. 基調講演 「女性研究者育成のこれから」

小舘香椎子氏(独)科学技術振興機構 男女共同参画主監、
電気通信大学特任教授、日本女子大学名誉教授)

2. 取組報告 「広がる女性の育成と活躍」

・「理系女子の進路選択の幅を広げる試み」

佐々木隆行氏(山形県立山形西高等学校教諭)

・「食事が薬になる科学」

平尾彰子氏(鶴岡工業高等専門学校物質工学科助教)

・「仕事と子育て～その現状について～」

井深章子(山形大学理学部物質生命化学科准教授)

3. パネルディスカッション 「男女共同参画に向けて」

コーディネーター 伊藤眞知子氏(東北公益文科大学教授)

パネリスト 阿部和久氏(山形県立山形西高等学校長)

宮崎孝雄氏(鶴岡工業高等専門学校副校長)

北野通世(山形大学男女共同参画推進室長)

コメンテーター 小舘香椎子氏

(お問合せ先) 山形大学男女共同参画推進室
電話 023-628-4937

男女共同参画 シンポジウム

未来につなげる女性研究者の育成

平成24年

11.19

14:40~17:10

会場/山形大学小白川キャンパス
理学部4階 S401教室

参加無料

どなたでもご参加いただけます

託児有

11月9日(金)までにお申込みください



プログラム

【受付】
14:00~

【開会挨拶】 学長 結城章夫
14:40~14:45

【基調講演】
14:45~15:25

「女性研究者育成のこれから」

こ だ て か し こ

小舘香椎子氏

(独)科学技術振興機構 男女共同参画主監、
電気通信大学特任教授、日本女子大学名誉教授

【挨拶】
15:25~15:30

遠藤恵子氏

(山形県立米沢女子短期大学長、大学コンソーシアム
やまがた副会長、内閣府男女共同参画推進連携会議議員)

【取組紹介】
15:30~16:00

「広がる女性の育成と活躍」

「理系女子の進路選択の幅を広げる試み」

佐々木隆行氏 (山形県立山形西高等学校教諭)

「食事が薬になる科学」

平尾彰子氏 (鶴岡工業高等専門学校物質工学科助教)

「仕事と子育て~その現状について~」

井深章子 (山形大学理学部物質生命化学科准教授)

【休憩】
16:00~16:10

【パネルディス
カッション】

「男女共同参画に向けて」

16:10~17:10

パネリスト

阿部和久氏 (山形県立山形西高等学校長)

宮崎孝雄氏 (鶴岡工業高等専門学校副校長)

北野通世 (山形大学男女共同参画推進室長)

コーディネーター

伊藤真知子氏 (東北公益文科大学教授)

【閉会挨拶】
17:10

副学長 北野通世

【情報交換会】
17:30~

山形大学小白川キャンパス厚生会館にて
(申込み11月9日(金)まで)

お問合せ・お申込み

山形大学男女共同参画推進室

☎023-628-4937/4938/4939

FAX 023-628-4014 (当日参加も受け付けます)

Email danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

- 主催/山形大学
- 共催/大学コンソーシアムやまがた
- 後援/山形県 山形市 山形県教育委員会

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

男女共同参画シンポジウム開催のご案内

山形大学では、平成21年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」の採択を受けて、3年間「山形ワークライフバランス・イノベーション」事業に取り組んで参りました。昨年度のシンポジウムでは、「男女共同参画に向けた大学連携・山形宣言」を採択しました。

この度、「山形宣言」1周年を迎え、県内各機関との連携をさらに深め、教育・研究分野における男女共同参画・女性研究者支援を前進させるため、シンポジウムを開催いたします。先進事例に学ぶと共に相互の情報交換の機会とするため、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

男女共同参画に向けた大学連携・山形宣言

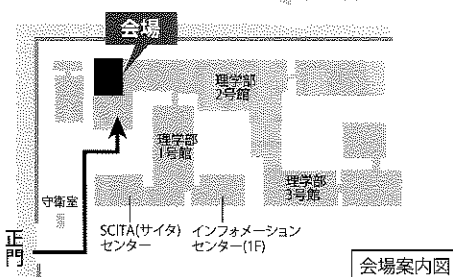
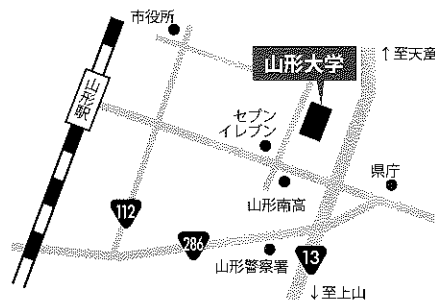
- 1 男女共に学びやすく働きやすい環境づくりをめざして、一層取り組んでいきます。
- 2 男女共同参画の推進のため連携とネットワークづくりを進めていきます。

2011年11月11日



講師：小館香椎子氏のプロフィール

第20・21期日本学術会議会員、応用物理学会元副会長・功労会員、科学技術政策研究所「ナイスステップな研究者」('08年)、応用物理学会「女性研究者研究業績・人材育成賞」(小館香椎子賞)設立('09年)、男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰('10年)、応用物理学会業績賞(教育業績賞分野)受賞('10年)、工学博士(東京大学)、専門分野(光エレクトロニクス)



参加申込書

お名前	
ご住所	
電話番号	
所属、学部・学年	
託児の希望の場合 (11月9日(金)まで)	お子さんのお名前： 年齢： 性別： アレルギーの有無：
情報交換会参加の有無 会費 2,000 円	有 無

お申し込みはこの用紙にご記入の上 FAX で 11 月 9 日 (金) までをお願いします。電話および E メールでも受け付けます。ご記入頂いた個人情報は厳重に管理し、他には一切使用しません。

お問合せ・お申込み先

山形大学男女共同参画推進室

☎023-628-4937/4938/4939 FAX 023-628-4014

Email danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成24年11月9日
山形大学

「山形県民シンポジウム」県内各地で開催

山形大学では、社会との連携活性化を目指して、山形県民シンポジウムを県内4か所で開催しています。

山形大学では、社会との連携活性化を目指して、山形県において、山形大学が有する「知」の資源を一層活用していただく取組を進めております。

昨年度は、県内7つの商工会議所との懇談会を行い、経済界からの意見を伺いました。

今年度は、山形県民シンポジウムを県内4か所で開催しています。第一回は、10月15日(月)に山形市で開催いたしました。今後、鶴岡市、新庄市、米沢市で順次開催いたしますので、広く、県民の皆様にご周知くださるようお願いいたします。

山形県民シンポジウムin庄内(第二回)

日時:平成24年11月10日(土) 13時30分～17時00分
場所:東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市)

山形県民シンポジウムin最上(第三回)

日時:平成24年11月27日(火) 14時30分～17時00分
場所:メモリアルプラザ大地会館(新庄市)

山形県民シンポジウムin置賜(第四回)

日時:平成24年12月11日(火) 14時30分～17時00分
場所:グランドホクヨウ(米沢市)

(お問い合わせ)
山形大学渉外部渉外課
(TEL) 023-628-4015



山形県民シンポジウム in 庄内

地域での人材育成と その活用について考える

平成24年

11月10日(土)

13:30～17:00 (13:00 受付開始)

参加費無料

会場

東京第一ホテル鶴岡「鳳凰の間」1F

山形県鶴岡市錦町2-10 TEL:0235-24-7611

対象

一般市民・教職員・学生

Photo: 庄内平野

日本の内政及び外交は、現在、数多くの問題に直面しています。また、少子高齢化、一次産業の衰退、限界集落の増加等、地域社会も同様に多くの課題を抱えています。

私たちは、我が国がさらに健全な社会に発展するために、次の二つの方策を提案します。

- (1) 従来の一極集中型の社会体制から自立分散共生型社会への転換による地域作りとその活性化
- (2) 20世紀の軍事力や経済力に代表されるハードパワーを重視した時代から、21世紀は文化や政策そして品格等により社会から信頼や発言力を獲得するソフトパワー時代に変革すること

私たちは、将来を予測し難い不確実性の高い時代に生きていますが、時代がいかに変わろうとも、地域を活性化し、我が国を再生・発展させるのは若く活力ある人材です。地域が人材を育成し、そうした人材が地域を愛し、地域に住みさらに地域で活躍することが何よりも重要です。

今回の「山形県民シンポジウム in 庄内」では、基調講演とパネルディスカッションを通じ、シンポジウムに参加される皆様と「地域人材をどう育成し、どう活用するか」考えます。

お問い合わせ先

山形大学 渉外部渉外課 (社会連携担当)

TEL: 023-628-4841 FAX: 023-628-4849

〒990-8560 山形市小白川町1丁目 4-12
E-mail: yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

プログラム

- 13:30 シンポジウム開会
13:50 第一部 基調講演
「激動期の人材育成」 町田 睿 (東北公益文科大学長)
- 14:30 休憩
- 14:45 第二部 パネルディスカッション
(テーマ)「地域人材をどう育成しどう活用するか」
(モデレーター)
西澤 隆 (山形大学農学部長)
- (パネリスト)
- ・小野木重弥 (株式会社大商金山牧場代表取締役社長)
 - ・佐々木喆彦 (学校法人いつき学園和光幼稚園長)
 - ・村上 賢一 (元山形県農業大学校長)
 - ・野堀 嘉裕 (山形大学農学部教授)
 - ・角 真理奈 (山形大学農学部3年)
- 17:00 終了
17:20 交流会 (会費: 4,000円 [参加自由])
18:30 交流会終了

山形県民シンポジウム in 庄内 〈参加申込書〉

お申込みは、11月5日(月)頃までにE-mail又はFAXでお願いします。
なお、E-mailの場合は、下記の全項目を入力の上、送信願います。

FAX

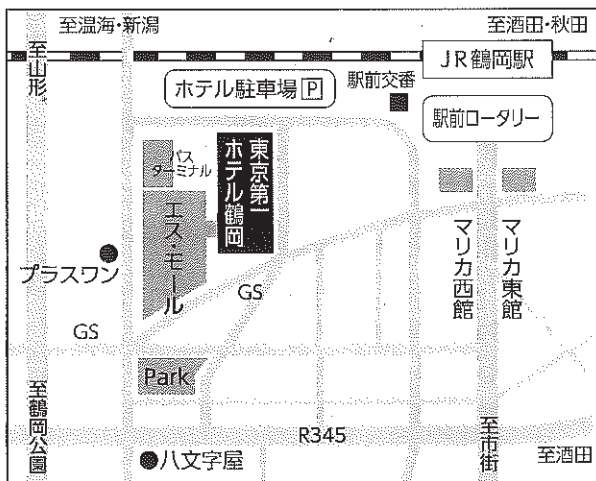
023-628-4849

E-mail

yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

氏名	ふりがな	年齢	代
所属		連絡先	電話 メール
山形県民シンポジウムへのご意見			
氏名	ふりがな	年齢	代
所属		連絡先	電話 メール
山形県民シンポジウムへのご意見			
氏名	ふりがな	年齢	代
所属		連絡先	電話 メール
山形県民シンポジウムへのご意見			

※個人情報本事業以外には使用しません。



会場

東京第一ホテル鶴岡

〒997-0031 山形県鶴岡市錦町2-10

<http://www.tdh-tsuruoka.co.jp/>

TEL:0235-24-7611 FAX:0235-24-7621



地域の未来を切り拓く

最上の求める人づくり

平成24年

11月27日(火)

14:30～17:00 (14:00 受付開始)

参加費無料**会場：メモリアルプラザ大地会館****対象：地域企業・教育関係者・
一般市民・自治体関係者**

プログラム

- 14:30 シンポジウム開会
14:45 第一部 基調講演
「活力ある人材育成と地域の活性化
- 観光を題材として -」
高橋幸司 (山形大学大学院理工学研究科教授)
15:25 休憩
15:40 第二部 パネルディスカッション
テーマ「地域が必要な人材とその育成」
モデレーター
小田 隆治 (山形大学地域教育学部教授)
パネリスト
・新庄信用金 (未定)
・戸沢村教育委員会 (未定)
・特定非営利活動法人アンプ (未定)
・農業関連 (未定)
17:00 終了
17:30 交流会 (会費4,000円)
19:00 交流会終了

教育、農商工、観光などの様々な点から、最上の求める人材を明確化し、その人材育成について考える

私たちは、将来を予測し難い時代に生きていますが、時代がいかにも変わろうとも、地域を活性化し、我が国を再生・発展させるのは若く活力ある人材です。地域が人材を育成し、そうした人材が地域を愛し、地域に住みさらに地域で活躍することが何より重要です。

今回の「山形県民シンポジウム in 最上」では、基調講演とパネルディスカッションを通じ、シンポジウムに参加される皆様と最上の未来と最上の求める人材について考えます。

お問い合わせ先

山形大学 渉外部渉外課(社会連携担当) 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL : 023-628-4015 FAX : 023-628-4849 E-mail : yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



「未来の置賜人」 に望むこと



平成24年
12月11日(火)

14:30～17:00 (14:00受付開始)

参加費無料

会場

グランドホクヨウ 1階「ブライツ・ノース」
山形県米沢市金池2丁目3-7 TEL：0238-22-1238

対象

一般市民・企業・自治体・学生・教職員

—地域が求める人材とは—

企業が求める人材と大学が育てる人材にギャップがある。
企業側に受け皿はあるが、学生が地元に残ってくれない。
ニュースや企業関係者から耳にする、
地域人材に関する現状です。

- 若い力を地域にどのように還元できるのか。
これは、未来の置賜ひいては日本にとって、
大きな課題のひとつと言えるでしょう。

では、置賜を担う若者に、会社や地域は何を求めている
のでしょうか？また、その若者を育てる教育の実態はどの
ようなものなのでしょうか？

一方、当事者である若者は、受けた教育と会社が求める
ものにギャップを感じているのでしょうか？

シンポジウムでは、地域が求める人材とその育成の実情につ
いて、企業/自治体関係者・教育関係者・地域住民・元学生
の意見を伺い、「未来の置賜人育成」について考えます。

プログラム

- 14:30 シンポジウム開会
- 14:45 第一部 基調講演
テーマ「(題目未定)」
佐藤廣志 (NDソフトウェア代表取締役社長)
- 15:25 休憩
- 15:40 第二部 パネルディスカッション
テーマ「未来の置賜人に望むこと
- 地域が求める人材とは -」
- モデレーター
飯塚 博 (山形大学 工学部学部長)
- パネリスト
 - ・米沢女子短期大学教員 (未定)
 - ・商工会議所関係者 (未定)
 - ・自治体関係者 (未定)
 - ・企業 (大学OB・OG) (未定)
- 17:00 終了
- 17:15 交流会 (会費4,000円)
- 18:30 交流会終了

お問い合わせ先

山形大学 渉外部渉外課(社会連携担当)

〒990-8560山形市小白川町1丁目4-12

TEL：023-628-4015

FAX：023-628-4849

E-mail：yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

プレス通知資料（概要）

平成24年11月9日
山形大学

1. 奥の細道マイスタ - 養成講座 キックオフシンポジウム開催

山形大学では、「奥の細道マイスタ - 養成講座」の開講を記念して、俳人であり、元文部科学大臣の有馬 朗人先生をお迎えし、キックオフシンポジウムを開催します。

マイスター講座受講生以外の方も無料で受講できます。

なお、マイスター講座の受講については、定員になりましたので、申込を締め切っております。

日時 平成24年11月16日(金) 16:30 ~ 18:45

会場 山形大学小白川キャンパス 基盤教育院2号館 221教室

受講料 無料

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

2. 第3回農業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム ~ 私たちの挑戦 ~ 開催

山形大学及び山形県内の農業高校・農業大学校が主催し、県民シンポジウムを開催します。

当日は、各農業高校等の生徒・学生が育てた新鮮な農産物を販売、シンポジウム、パネルディスカッションを開催します。

日時 平成24年11月13日(火) 13:00 ~ 16:00

会場 山形県郷土館「文翔館」

参加費 無料

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

奥の細道マイスタ - 養成講座 キックオフシンポジウム聴講者募集



山形大学では今年度から「奥の細道マイスタ - 養成講座」を開講します。被災した東北地方を縦断し、芭蕉が足跡を残した各地にマイスターを養成し、観光等のボランティアとして活躍していただく事業です。

開講記念のキックオフシンポジウムはマイスター講座受講生以外の皆様にも開放します。

主催 / 国立大学法人山形大学 後援 / 山寺芭蕉記念館

日時 : 平成24年11月16日(金) 16:30 ~ 18:45

場所 : 山形大学小白川キャンパス(山形市小白川町1-4-12)

基盤教育2号館221教室

タイムスケジュール :

16:30 ~ 17:30 講演「俳句とわが人生」

講師 : 有馬朗人先生(俳人、元文部科学大臣)

17:45 ~ 18:45 対談「『奥の細道』の現代的意義」

有馬朗人先生・山本陽史山形大学基盤教育院教授



有馬朗人先生

有馬朗人先生

東京大学理学部卒業。物理学者、俳人。
東京大学総長、参議院議員、文部大臣を歴任。

学校法人根津育英会武蔵学園長、公立大学法人静岡文化芸術大学理事長。

文化功労者、文化勲章受章者。

山本陽史山形大学基盤教育院教授

東京大学文学部。同大学院で日本文学を専攻。
著書に『江戸見立本の研究』『藤沢周平の山形』など。
映像作品「奥の細道 百代の過客」、ラジオドラマ「夢は枯野を」等の脚本を担当。
山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯(ともしび)に」の企画担当。

受講料 / 無料

申込方法 / 受講申込書により郵送またはFAXにて申し込んでください。

締切 / 平成24年11月14日(水)

定員 / 一般市民 150名(応募者多数の場合には抽選になります。)

お問い合わせ先

山形大学渉外部渉外課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL : 023-628-4843 FAX : 023-628-4849

E-mail : k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

奥の細道マイスター養成講座キックオフシンポジウム受講申込書

お名前 :

ご住所 : 〒

同行者氏名(合計3名まで) :

電話番号 :

Eメールアドレス(任意) :

ファックス番号(任意) :

第3回 農業・食料・環境を考える 山形県民シンポジウム ～私たちの挑戦～

日時
場所

11月13日 火

入場
無料

13:00～16:00
山形県郷土館「文翔館」

農産物販売 13:00～14:30 文翔館前広場

各農業高校・農業大学校・山形大学農学部が生徒・学生が育てた新鮮な農産物を販売します。なくなり次第終了します。

シンポジウム 13:20～14:20 文翔館ホール

「山形の農と食と環境を担う私たちの挑戦」

・農業高等学校(2発表) ・農業大学校(2発表) ・山形大学農学部(1発表)

パネルディスカッション 14:30～15:50 文翔館ホール

「農業の魅力・おもしろさ～私たちの挑戦～」

司会(コーディネーター)：山形県高等学校長会農業水産部会長 竹田耕平 氏

アドバイザー：山形大学農学部教授 村山秀樹 氏

話題提供者：山形大学大学院農学研究科 矢口智也 氏

パネラー：農業実践者、山形大学生、農業大学校生、農業高校生 ほか

主催

山形大学農学部 山形県立農業大学校、山形県立上山明新館高等学校

山形県立寒河江高等学校 山形県立村山農業高等学校 山形県立新庄神室産業高等学校

山形県立置賜農業高等学校 山形県立庄内農業高等学校